

第30回議員と語りかい 報告書

3班 (No.1)

開催日	令和元年 5月10日(金) 午後7時 ~ 8時30分		
開催場所	松永地区公民館		
団体名	松永地区自治公民館	参加人員	13人 (男13人:女0人)
出席議員	久保 史睦、愛甲 信雄、平原 志保、阿多 己清、仮屋 国治		
役割分担	班 長 (久保 史睦) 副班長 (平原 志保) 記録者 (阿多 己清)		
テーマ及び具 体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税引き上げの件について ・介護事業の在り方、地域包括ケアについて ・観光を活かしたまちづくりについてなど 		

意見交換での 主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆本市の国保税は高いほうだと思うが、国保税を上げなかった市もある中で、2年連続で上げたのは何故か。賛成者の意見を聞きたい。</p> <p>◇被保険者、国保税を払っている人が減少していること。繰り入れの議論もあったが他の保険との不公平感の意見もあった。県が運営している国保であるし、県から示される標準税率を守るべきとの判断をして賛成した。なお、国の負担割合の見直しについては、議会からも提言しているところである。</p> <p>◇全国的に国保財政は厳しい状況であるが、2年連続で上げなければならないほど財政的に困っているのか。もう少し政策的配慮もあるべきだと思い反対した。</p> <p>◆国保の保険料値上げは大きい。決める前に市民に問うべきでは。市民の声を聴くような場はなかったのか。意見はなかったのか。</p> <p>◇市民の方々からは反対内容の陳情書が提出された。それらの審査の段階で、やり取りをした。結果的には苦渋の判断をした。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での
主な意見等

◆医師会医療センターがあるが、介護ケアがない。役所跡などを活用して公設公営で介護事業を行うことはできないか。

◇合併して公共施設は余剰状態であるので、今後の活用策は大きな課題である。現在、市では民間の事業プランの導入なども含めて検討に入っている。介護の公設公営については、民間運営の流れとなっているので厳しいと思う。

◇養護老人ホームの民間譲渡を進めていく中で公設公営の介護事業は逆行していると思う。民間の有料老人ホームや介護福祉施設が数多くあるので、市としてはそこらをフォローしていくほうがいいと思う。

◆介護施設では虐待などの事件が発生している。最終的に責任を取るのは行政だと思う。民間で運営した結果がいろいろと問題になっているのではないか。

◇行政がやれば時間も金もかかる。介護事業だけでなく民間の知恵を活用して、民間運営の流れとなっていることは理解してほしい。

◇春光園が民間譲渡されたが質のいいサービス提供がなされている。行政も補助金等を出す以上は責任を持つべきで、超高齢社会に向かっている中で、今の意見を踏まえながら新しい介護事業を考えることは必要かと思う。

◇横川の長安寮は、定員50人に対し、20人ほどである。民間事業者でも介護職の方々も頑張っている。モラルの問題ではないかと思う。

◆空港で観光関係の仕事をしている。本市の観光はまとまりがないと思う。鹿児島観光は時間との勝負である。本市は見る所、食べる所、入る所、九州内でも群を抜いていると思う。指宿より断然いいのに観光客は指宿を選ぶ。何故だと思うか。

◇交通の便ではないか。

◆交通の便が悪いとは思わない。レンタカーがある。霧島市は観光のまとまりがない。本県の観光は何日で回れると思うか。

◇離島を除いて3日から7日は必要かと思う。

◇県全域を回る観光客はいないと思う。インターネットで調べてピンポイントで行く流れだと思う。今回のブロードバンド整備で期待ができると思う。

◇以前に知事と意見交換をしたことがあるが、メンバーのほとんどが南薩、指宿方面の方々に、その方々はかねてから意思疎通ができていたように感じた。以前の外国人は爆買いなどが多かったが、今は見たり体験したりする観光になっている。桜の名所も活かした観光行政にしていけばいいと思う。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

◆地域包括ケアの仕事をしている。本市は先日の事件があったように、事業者と行政との関係が薄い。介護事業の一番の理念の質の向上が図られていない。共同、助け合い、補完し合うことが質の向上をつくると思う。それらをコーディネートするのが行政だったり社協だったりする。介護職の離職も多いが保育所を世話するとか、離職防止対策はいっぱいある。安心して年を取れるようにしていくことがまちづくりにもなる。困っている人をみんなで助ける。ちょっと高価格の老人ホームを造るとか、介護や高齢者をどんどん増やしていく。突出した観光のようなものだけでなく総合力でつくることがいい。例えば農産物、食など健康に結びつくものもある。高齢者に価値の良いものを作ってもら。住みやすさを前提にまちづくり、地域づくりをしていくべき。どういうことをしていくべきか議会でも議論してほしい。

LGBTの問題であるが、中学校でも無理に制服を義務付けるのはどうかと思う。自転車通学生が多いので、パンツ着用などの配慮があってしかるべきと思う。

◇LGBTの件は、本市では希望者はスラックスを着用してもよいとなっている。中学校での制服の見直しは、徐々にされていくものと思う。農産物については、黒毛和牛が80万円から90万円と高くなっていることもあり、飼育高齢者が復活している。農協でも付加価値を高める取組もなされているところである。

◇宮崎県新富町で地元野菜が爆発的に売れている。行政の力ではなく地域商社で付加価値をつけ売り出している。本市でも霧島商社が立ち上がり、地域の知恵をもらいながらブランド化を目指している。また、本市の地域包括ケアについては、充実していると認識している。行政と事業者、地域との連携、完全ではないかと思うが、介護ケアの研修、勉強会など取組もなされていると思う。

◆本市は一般の介護予防のプランが甘い。管理監督だけでなく、どう支え合うのかお互いに高め合う関係を行政と事業者、地域の中に作らないといけない。日常的にコミュニティがしっかり取れていることがポイントと思う。そのためには人が足りない。地域包括支援センターの人員不足があると思う。

◇健康サロンなどの取組もしているが、事業者のモラルの部分もあると思う。今後頑張っていきたいと思う。

◆自治会長をしているが、一番困っていることは、154世帯ある会員の年齢、1人暮らしなのか、世帯の人数がわからないことである。自治会の規定で、敬老会参加は70歳以上、清掃免除は80歳などある。災害時の支援のために独居老人調査も行っているが、75歳以上が対象となるが正確な年齢が分からず、いろいろなことが進められない。自治会運営がしにくい現状である。どうにかならないか。

◇個人情報保護法により、難しいと思う。以前に入会申込書が配付されていたが今はどうなのか。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◆行政から名前と世帯主、家族構成と住所はもらっているが、生年月日はない。
- ◇任意で独自の入会申込書を取ったらどうか。
- ◆年度当初に聞いているが、完全にはできない。市でもらえればと思って。
- ◇行政から情報をもらえないので、各自治会は困っていると思う。自分の自治会も独自に名簿をもらったことがある。松永の他の地区ではどうしているのか。
- ◆過去の記録もあるが、若い人たちは情報を教えない傾向にあるので、今後の心配である。特に解決策はない。
- ◆かなり以前から入会申込書を取り、生年月日や家族構成を書いてもらっている。当初の申込書しかないので、年齢の未記入、その後の家族構成が全く分からないものもある。
- ◇先般民生委員の会議に参加したが、市から個人情報をもたらえないと言われていた。やればやるほど法に基づく矛盾を感じる。各自治会いろいろと工夫をして情報を得る方法を検討すべきと思う。

意見交換での主な意見等